

配信用発表データ作成マニュアル

Mac PowerPoint
2020.12

準備編

- ・ 音声記録用のマイク（iMac、ノート型 Mac は内蔵のマイクも利用できます）を準備してください
- ・ PowerPoint（ver.2019 以降）でスライドの準備をお願いします
- ・ スライドは 16:9 で作成してください
- ・ スライド内に動画を利用される場合は、動画を埋め込んでください

マイクの動作確認

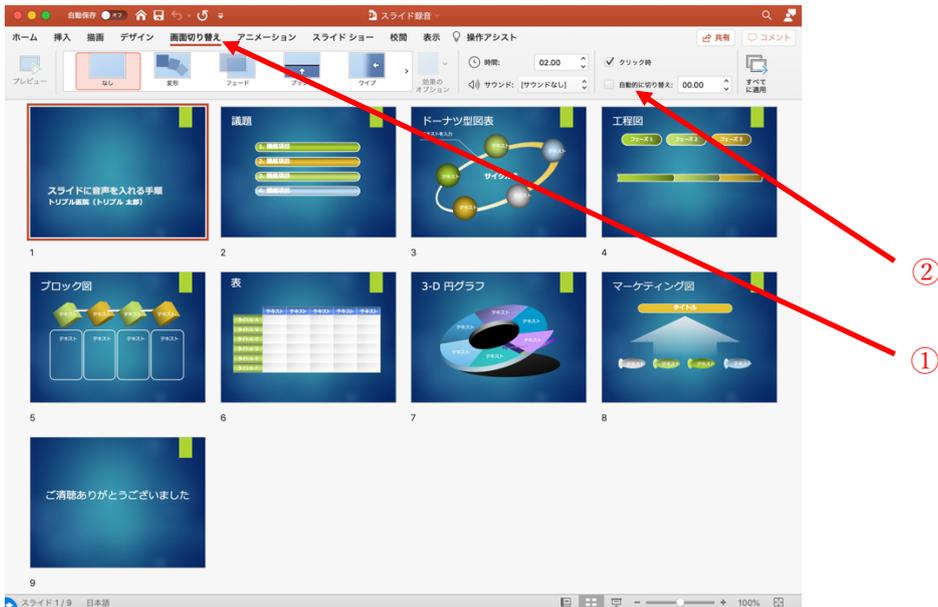


システム環境設定のサウンド①を開きます。

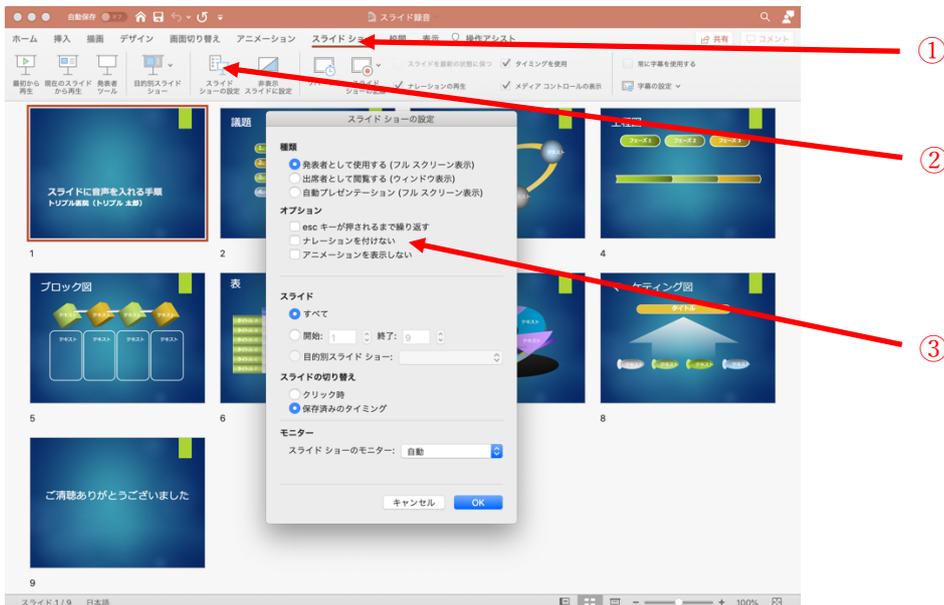


入力のタブ①を選択し、利用しようとしているマイク②が選択されおり、入力レベル③のレベルゲージが反応していることを確認してください。レベルが低い場合は、入力音量のレベルを調整してください。

準備（スライドの確認）



録音するスライドを開き、画面切り替えタブ①から、全てのスライドに切り替えのタイミング②が設定されていないことを確認してください。



スライドショータブを選択後①、スライドショーの設定②を開き、ナレーションを付けない③のチェックが外れていることを確認して下さい。

以上を確認後、録音を開始します。

録音の開始



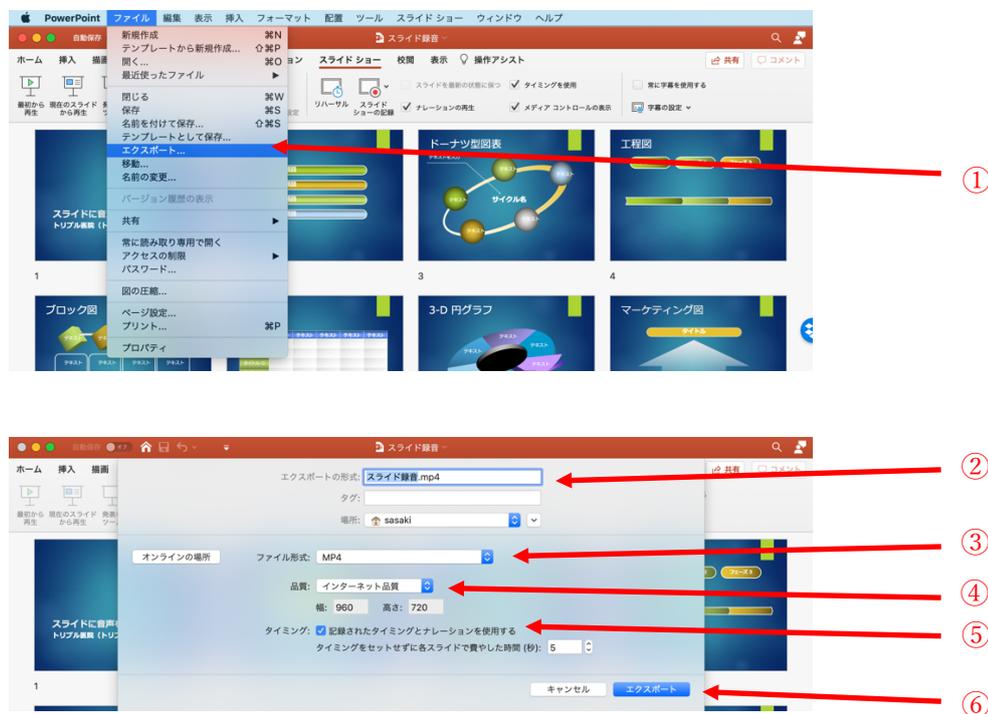
録音するスライドを開き、スライドショータブを選択後①、スライドショーの記録／スライドショーの記録②を選択すると録音モードに画面が変わります。この時、選択しているスライドから録音が始まります。



録音モードに画面が切り替わると、録音は自動でスタートしますので、適宜一次停止ボタン、再収録ボタン①をクリックしてください。次ページへ移動するボタン②をクリックすると次ページの録音へと切り替わります。

全てのスライドの録音が終了したら、esc キーまたは画面左上のスライドショーの終了ボタンを押し、録音モードを終了します。

動画データの書き出し



ファイルメニューからエクスポート①を選択します。

書き出す場所、ファイル名を適宜設定し②、ファイル形式を MP4③に、品質をインターネット品質④に、タイミング設定のチェック⑤が入っていることを確認し、エクスポート⑥します。

以上で動画の作成は完了です。

録音の修正



特定のスライドの録音をやり直すことが可能です。

録音をやり直したいスライドを選択し状態で、スライドショーの記録を選択します。



録音は自動で開始されます。録音が終了したら、停止ボタン①を押し、esc キーまたは画面右上の×ボタン②で録音モードを終了します。